



笑顔あふれるまちづくり

いいぬま雅子

品川区議会議員区政報告

NO366. 2011. 9. 25.

被災地ボランティアパートII (石巻市)

やっと仮設住宅の生活がスタート

野菜不足・救援物資を届けましょう

8月29・30日石巻市に行ってきました。やっとできた仮設住宅。将来不安でいっぱいのは被災者を訪ね物資を届けてきました。つかの間の笑顔が会場に広がりましたが、生活を支える物資不足を痛感しました。物資お届け募金に取り組み、現地が求める品物を購入し責任を持ち届けます。募金にご協力をよろしくお願いいたします。



かつて住宅が立ち並んでいた石巻市南浜町。遠くに見える日和大橋を越える16mの津波が、人も家も全てを奪った。がれきは撤去されたが、地盤沈下のため水がたまっている。

左の写真は菊地前区議と夫と共産党震災・救援対策センター前で



車と運転手をやっと確保し(夫に感謝)石巻へ。先に応援に入っている菊地前区議から「野菜が欲しい」と電話が入り、米とサツマイモと梨を購入。後援会からのそうめんを預かり、朝5時半出発。共産党救援センターに到着は午後1時。とにかく実態を見て感じて東京に伝えてほしいと菊地さんが石巻市の南部から隣町の女川町にかけて案内してくれました。

津波から逃れるために人々が駆け上がった日和山 標高60m)からの光景は、がれきの大山と廃車の山のほかに何も無い。山を降りた所は、写真のような廃墟。生活していた人々は、バラバラになり避難生活をしています。5か月をすぎ、避難所は63か所2162人がいます。まだ避難所生活を強いられています。

港周辺水産加工関連の会社は全滅。少しずつ復興していますが、宮城県知事がすすめる「水産特区」構想では地元水産加工業がつぶされる。地元共産党は闘っています。

隣の女川町・高台の病院

無料法律相談は、弁護士の都合で休んでいますが、お急ぎの方は、法律事務所につながりますのでご連絡ください。

の1階まで水が上がり、眼下は全て流され、がれき運搬のトラックが埃を舞いあげ往来。5階建てのビルがゴローンと真横に倒され津波の恐ろしさを伝えていました。

救援センターから1400人の泥かき応援に入った墓地からは、3人の方のご遺体が発見されたと聞きました。死者3158人、行方不明849人県内で一番被害の大きかった石巻市です。8月24日現在

2日目は、羽黒町と水

2日目は 物資お届け隊 話ができてうれしい

明の仮設住宅へ物資のお届けにあがりました。

青年ボランティアと米を小袋に詰め替え、野菜、果物、衣類、洗剤、食器、お菓子などトラックに積み込む午前と午後2か所の仮設住宅を訪ねました。忙しい中、水沢市議、三浦市議が駆けつけハンドマイクで周辺に呼びかけ

をして店開きです。

「久しぶりに人に会って話ができ楽しい」と女性。次々に人が集まってきて洋服選びをしながら会話が弾み笑顔が広がりました。いろいろの地域から抽選で仮設に入居しているため、昼間は一人ぼっちの人が多いとのこと。さびしいですね。

数人からお話を伺うことができました。「全財産を流され、首までつかり傷だらけになり助かった。お金がなくて不安。一人ぼっちでぼんやりし



上の写真は、羽黒町仮設住宅での物資お届け隊 全国から集まったボランティア、運搬トラックの前で

ている。野菜もお米も大助かりです」（高血圧なのに通院していないので心配。地元の党員に頼んできました）

「情報がなく5か月目でやっと仮設住宅に入居。仮設は2年間で出なければならぬので子どもの転校をしないで遠い学校まで通っている」（小学生のお母さん）

「首になって困ってんだよ」と男性。

一日も早く住宅、仕事、生活資金の確保を行い安心して生活できるよう政治が機能しなければなりません。

必要なものは変わりますが被災地が求めるものを届けましょう

す。問合せで届けることにしました。重ねて募金へのご協力お願いします。

区議会が始まります 傍聴に来てください。

- 9月21日22日 本会議での一般質問
- 9月26日～29日 5 常任委員会と行革・震災対策特別委員会
- 10月3日～17日 決算特別委員会
- 10月21日 最終本会議

区役所隣議会棟4階事務局で名前と住所を書けばOKです。6階共産党控室にもお寄りください